

第 4 1 回神奈川県病院学会について

新型コロナウイルス感染症下において、時間的・空間的分散を図る観点から、学会等を一定期間 WEB 配信する方法が選択肢として必要です。

今回の開催方法等について、書面審議にご回答いただいた結果、以下のとおりとなりましたのでご報告いたします。

(1) 開催について

①実施時期 ⇒ 10～11月の案で了承。(全会一致)

②日程及び実施方法

⇒ 10/5に基調講演、シンポジウムを実施。(一般演題の配信を開始。)
11/2は、一般演題表彰及び受賞者のコメント(発表)のみとする。

【A案】 「日程分散」 & 「WEBと実地」のハイブリッド方式 (10/5、11/2)	10人
【B案】 WEBと実地のハイブリッド方式 (一般演題以外は同一日で実施)	11人

【コメント】

- ・今後のコロナの流行状況が予測できないためB案(日程)としたい。
- ・まだ状況が読めないためB案とさせて頂きました。
- ・1ヶ月間開けて2日間実施より1日で行い閲覧できる方が参加しやすい。

③学会テーマ ⇒ 「病院の働き方改革とコロナ時代の地域医療」

※一般演題は、学会テーマ以外の発表についても可とする。

【A案】 「病院の働き方改革 Part 3」	10人
【B案】 「with/afterコロナ時代の地域医療 Part 2」	10人

※保留1・・・3月までに第六波があればB案(コロナ)、なければA案(働き方)としたい。

【コメント】

- ・2024年の医師の働き方改革が始まる前に是非とも特に医師の働き方改革としてシンポジウムで入れて頂きたい。
- ・今後のCOVID-19感染拡大にもよりますが、COVID-19に皆さん少し飽きてきているように思います。

- ・after コロナの一つとして、病院の経営、働き方改革を取り扱うことができるようにする方法もあるように思います。
- ・コロナのテーマだけで演題など不足もあるかと思いA案としました。そこでもコロナ案件に取り組めるため。
- ・コロナ関連のテーマは多い。働き方改革の方が興味があるのではないか。
- ・(B案賛成者) オミクロン等の新株の流行の可能性を検討すべき。

④学会誌

例年どおり作成し配布する案で了承。(全会一致)

⑤優秀演題表彰

以下の案で了承。(全会一致)

- ・一次審査を各職能団体等選出の学術委員、二次審査を学術委員(県病協会役員)にお願いする。
- ・上記の審査のうえ、4～5演題(概ね10演題に1題程度)を選出する。

(2) 基調講演及びシンポジストについて

以下の案で了承。(全会一致)

- ・人選は、学会長及び委員長に一任する。
- ・基調講演は、(1)③のテーマに応じて、A案「病院の働き方改革 Part 3」の場合は、ハイズ株式会社 代表取締役社長 斐 英洙(はい えいしゅ)氏を予定。
- ・シンポジストについて、個別に調整のうえ、推薦を依頼する。

(3) 関係団体協力員について

以下の案で了承。(全会一致) ⇒ 実地+WEB方式のため依頼しない。

(4) チラシ及びポスターについて

以下の案で了承。(全会一致)

- 概要が決まった時点で作成し、配布する。
- その際、協力団体としての名義使用許可を従前どおりとする。